**研究（終了したもの）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究課題番号 | 研究責任者 | 研究課題名 |
| 2024-028 | 岩部　翠 | CDK4/6阻害薬と胃酸分泌抑制薬の薬物相互作用の検証：多施設共同後方視的観察研究 |
| 2023-006 | 三浦千里 | 造血器腫瘍における polatuzumab vedotin 併用下での副作用発現率についての 比較検討 |
| 2023-005 | 内田　敬 | カペシタビン投与患者に発現した手足症候群と外的環境との関連：パイロット試験 |
| 2022-040 | 土屋雅美 | CDK4/6阻害薬と胃酸分泌抑制薬の薬物相互作用の検証：多施設共同後方視的観察研究 |
| 2022-016 | 土屋雅美 | 病院診療データを用いたデノスマブ誘発性低Ca血症発症リスク予測モデルの外挿性評価及び更新 |
| 2021-014 | 岩部　翠 | 新型コロナウイルス流行下におけるがん薬物療法の安全性の検討 |
| 2021-003 | 内田　敬 | 糖尿病がビンクリスチン投与患者の末梢神経障害に与える影響－R-CHOPおよびR-CHOP類似療法施行患者を対象とした後方視的研究－ |
| 2020-043 | 土屋雅美 | がん医療に従事する薬剤師を対象とするオンデマンドセミナーの有用性の検証 |
| 2020-010 | 土屋雅美 | 医療従事者を対象とするジャーナルクラブ活動の教育効果と臨床業務に及ぼす影響の検証 |
| 2020-003 | 土屋雅美 | StageⅡ/Ⅲ治癒切除可能大腸癌患者におけるカペシタビンと制酸剤の相互作用についての多施設共同観察研究 |
| 2019-082 | 三上貴弘 | 高齢乳がん患者に対するアントラサイクリン系抗がん薬投与における、レニン－アンギオテンシン系阻害薬の心筋障害予防効果の検討 |
| 2019-075 | 土屋雅美 | オラパリブ内服患者における化学療法に伴う悪心・嘔吐に関する多施設共同前向き観察研究（JASCC-CINV 2002） |
| 2019-074 | 土屋雅美 | トリフルリジン・チピラシル内服大腸癌患者における化学療法に伴う悪心・嘔吐に関する多施設共同前向き観察研究（JASCC-CINV 2001） |
| 2019-069 | 内田　敬 | プロトンポンプ阻害薬の服用タイミングがCDDP投与患者の腎機能に与える影響 |
| 2019-053 | 下山順士 | 造血器腫瘍患者におけるバンコマイシン血中濃度予測値と実測値の乖離要因の検討 |
| 2019-008 | 三上貴弘 | 当院における抗がん薬治療中の静脈血栓塞栓症に対する直接経口抗凝固薬の安全性に関する検討 |
| 2019-005 | 嶺岸なつみ | 皮膚症状ケアハンドブックの有用性に関する質問紙調査 |
| 2018-061 | 土屋雅美 | 免疫チェックポイント阻害薬治療の安全性についての検討 |
| 2018-057 | 土屋雅美 | がん化学療法に対する制吐薬としてのオランザピンの使用実態調査 |
| 2018-015 | 土屋雅美 | 多発性骨髄腫治療における抗血栓薬の静脈血栓症予防効果の検証と医療経済的評価 |
| 2018-007 | 土屋雅美 | プロトコールに基づく経口抗がん薬治療管理の効果を実証する調査研究 |
| 2017-026 | 江刺晶央 | 抗がん薬曝露の意識に関する質問紙調査 |
| 2017-011 | 内田　敬 | ドセタキセル投与患者の手足症候群発症率及び重症度と、室内環境との関連性の研究 |
| 2016-076 | 土屋雅美 | 抗がん薬投与プライミングキット導入前後における輸液ポンプ汚染状況の評価 |
| 2016-070 | 江刺晶央 | 「医薬品安全管理研修会」研修効果測定のための質問紙調査 |
| 2016-063 | 土屋雅美 | 抗がん薬取扱いトレーニング法の確立と残留抗がん薬測定を用いた教育効果の評価 |
| 2016-053 | 土屋雅美 | 非小細胞肺癌に対するニボルマブ治療の安全性についての検討 |
| 2016-052 | 江刺晶央 | 立位での排尿による小便器周囲の抗がん剤曝露に関する調査 |
| 2016-042 | 土屋雅美 | 「宮城県がん化学療法チーム研修会」研修効果測定のための質問紙調査 |
| 2015-052 | 江刺晶央 | がん患者就労支援における夜間外来化学療法の現状と課題 |
| 2015-048 | 土屋雅美 | 婦人科がんTC療法における悪心・嘔吐リスク因子の後方視的検討 |
| 2015-026 | 内田　敬 | ドセタキセル投与患者における手足症候群と、気温及び水蒸気圧との関連の調査 |
| 2015-017 | 土屋雅美 | がん薬剤師外来の有用性の検討 |